

授業概要

地理学は地域の人文・社会・自然現象を総合的に把握し、その性格や特色を明らかにし、地域の成り立ちや空間的分布、地域構造を考察していくことを目的としている。自然地理学においては、自然現象のうちと人間生活に関わりの深い諸事象について、その地域的分布や相互関係、人間生活とのかかわりを考察していく。

授業ではまず地球の大きさや表し方について講義する。続いて、世界の大陸や海洋、気候などについて講義する。さらに日本の地形や河川、気候、季節感について講義する。地域を見る、地域を知るということを念頭に置き、授業を進めていく。

授業計画

第1回	授業ガイダンス
第2回	地球の形(1) 地球の大きさとその形(緯度・経度と時差)
第3回	地球の形(2) 地球の表し方(図法・投影法)
第4回	世界の自然環境(1) 地球の表面
第5回	世界の自然環境(2) 海水の流れ
第6回	世界の自然環境(3) 世界の気候(温帯)
第7回	世界の自然環境(4) 世界の気候(熱帯と乾燥帯)
第8回	確認テスト：前半の確認と補足説明
第9回	日本の自然環境(1) 日本の地形
第10回	日本の自然環境(2) 日本の河川
第11回	日本の自然環境(3) 水循環と水利用
第12回	日本の自然環境(4) 日本の気候と気候区分
第13回	日本の自然環境(5) 日本人の季節感
第14回	日本の自然環境(6) 自然保護と環境保全
第15回	まとめ：授業のまとめと補足説明
第16回	期末試験

到達目標

地理学的な見方・考え方を学び、一般常識としての「地理」の知識や教養を身に付けることができる。地図を正しく読むことができる。地域のことを正しく理解できる。

履修上の注意

授業は講義を中心とするが、作業も行う。履修者の人数により、内容を変更する場合がある。当然ながら、授業中の私語や私事は禁止である。

地図帳を持参すること(二宮書店もしくは帝国書院が望ましい)。

予習・復習

日常的に新聞やニュースなどにより、地域の出来事に関心を払って欲しい。知らない地名や聞いたことの無い地名があった場合には、地図帳で確認すること。

評価方法

定期試験(持込不可)：70%

平常点(リアクションペーパー・受講態度等)：30%

テキスト

プリントを配布する。